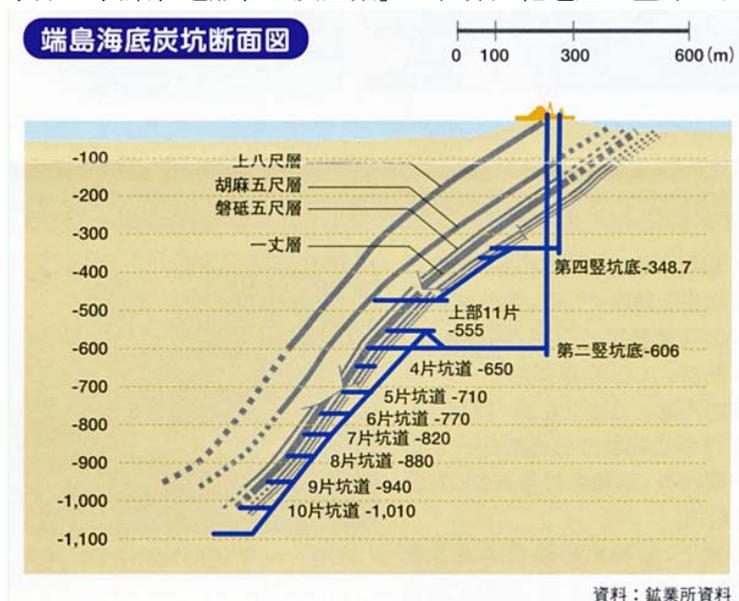


端島炭鉱(軍艦島)

所有者 : 長崎市
施設所在地 : 長崎県長崎市
調査見学時期 : 平成 28 年 8 月 26 日 (金)
施設概要

端島炭鉱は明治時代から昭和時代にかけては海底炭鉱によって栄え、東京の人口密度の 9 倍を有していました。1974 年の閉山にともなって島民が島を離れてからは、無人島になっています。端島は、その形から軍艦島(ぐんかんじま)の通称で知られています。軍艦島は長崎港から船で 18.5km の距離に位置しています。付近の海域は潮の流れが荒く、僅かな風でも波の様相は一変することもあり、天候によっては上陸できないこともあります。軍艦島は全部で 6 回の埋立て履歴があります。端島炭鉱は海底に地下 1,000m 以上、周囲 2km 四方以上の広大な範囲に渡って、数多くの坑道が掘削されています。2015 年、軍艦島を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されました。



見学当日の軍艦島